

新宮城跡（丹鶴城跡）

新宮城跡は和歌山県新宮市内にある公営の公園内にあります。3月の終わりから4月初めにかけて、特に桜の季節には人気のピクニックスポットです。お城には石垣と階段の他はほとんど残っていません。

かつてここに立っていた新宮城は1619年から1633年にかけて建設されました。新宮城の計画が始まったのは、何年にも渡る戦争の後の、政治的激動の期間である安土桃山時代（1568～1603）です。町と熊野川を見渡せる場所に位置し、新たな戦争が起こったときにこの地域を防衛するため築城されました。完成したのは比較的平和で安定した期間である江戸時代（1603～1868）初期のことです。幕府の代わりにこの地域を統治していた水野氏が10世代にわたって居城していました。水野氏の財産は捕鯨と関係がありました。お城の敷地を商いの拠点として用い、灯りに使用する鯨油を川と海岸線をつたって江戸（現在の東京）まで運びました。明治時代（1868～1912）に日本のほとんどのお城が政府に引き渡され解体されました。新宮城はおよそ250年間建っていましたが、1875年までに取り壊されました。